

初心者向け英会話教材

「最低限の英語」

－ 「まったく話せない」を克服する －

 INTEGRITY

インテグリティ 英語学院

■ 教材の趣旨

教材の趣旨は、「まったく話せない」という状態にある方を対象に、まずは効率的に、手っ取り早く、そこから脱却して頂くことにあります。

そのために、まずはそれを発することができれば「とりあえずなんとかなる」という部分として、

I'm, I don't ～, Are you ～, Did you ～, I'd like to, Can you ～、..

といった各英文冒頭の 2～3 語のみに絞り、それぞれをパターン化したうえで解説し、342 セットの「日本語→英文」を使用し、各英文の冒頭 2～3 語のみ(計 20 パターン)を暗記して頂きます。

「日本語例文」→「英文冒頭 2～3 語」。

これを暗記し、即座に発せられるようにすること。

■ 各英文の冒頭 2～3 語は、その内容の「テーマ」毎に一定の組合せにパターン化することができます(これを「英文冒頭パターン」と呼んでいます)。

■ 教材は「テーマ」ごとに構成されており、それに沿って学習・暗記をして頂きます。

- 「伝える」、「尋ねる」、「促す」という大きな 3 つのパートに分かれており、各パートは、さらにより細かな「ユニット」によって分かれています。

■ 各パターンを暗記して頂くために、計 **342 セット**の「日本語→英文」の組合せを提供しています。テーマ毎、複数の英文に共通する最大公約数の部分としての英文冒頭パターン(計 20 パターン)を暗記してください。

■ 学習・暗記の方法

テーマ毎、該当する英文冒頭パターンの文法や構造について学習して頂いた後、当該パターンを使用した英文を使い、当該パターンの暗記をして頂きます。

方法は、①「日本語例文」を読む → ②「英文冒頭パターン」を確認する → ③暗記する の順番で実施して頂きます。

① 「日本語例文」を読む。

まずは、テーマ毎、「日本語例文のみ」をご確認頂きます。

この際、各日本語例文を実際に発信する状況を具体的にイメージしながら読んで頂けるとより効果的です(一部のものは「備考欄」にて、どういう状況での発信か、どういうニュアンスか、等を追加してありますので参考にしてください)。

② 「英文冒頭パターン」を確認する。

各「日本語例文」の直後には、その日本語例文を表現する英文に共通する冒頭2～3語のパターンである「英文冒頭パターン」を提示してあります。

③ 暗記する。

その後、①の「日本語例文」に再度戻って頂き、それぞれの日本語例文に対し、

②で確認済の「英文冒頭パターン」を暗記する練習を実施して頂きます。

それぞれ即座に発せられる状態になるところまで繰り返して実践してください。

* 各日本語例文に対する英文全文の一覧は、巻末(教材本編 p.95 ～)にてすべて提供していますのでご確認・ご活用ください。

■ 教材本編目次

パート 1 「伝える」 p.1

ユニット 1 「自分のこと」について伝える p.2 ~

テーマ 1 「自分の状態」について伝える

テーマ 2 「自分の性格、タイプ、…」について伝える

テーマ 3 「自分がやったこと」について伝える

テーマ 4 「自分の意思、要望」を伝える

総合練習

ユニット 2 「他者のこと」について伝える p.26 ~

テーマ 5 「他者の状態」について伝える

テーマ 6 「他者の性格、機能、…」について伝える

テーマ 7 「他者がやったこと」について伝える

総合練習

パート 2 「尋ねる」 p.41

ユニット 1 「相手のこと」について尋ねる p.42 ~

テーマ 8 「相手の状態」について尋ねる

テーマ 9 「相手の性格、タイプ、…」について尋ねる

テーマ 10 「相手がやったこと」について尋ねる

テーマ 11 「相手の意思、要望」を尋ねる

総合練習

ユニット 2 「他者のこと」について尋ねる p.63 ~

テーマ 12 「他者の状態」について尋ねる

テーマ 13 「他者の性格、機能、…」について尋ねる

テーマ 14 「他者がやったこと」について尋ねる

テーマ 15 「他者に関する予測」について尋ねる

総合練習

ユニット 3 「自分のこと」について尋ねる p.82 ~

テーマ 16 「(わたしは)～することができますか？」

テーマ 17 「(わたしは)～すべきですか？」

総合練習

パート 3 「促す」 p.91

テーマ 18 「相手に動作を」促す、勧める

巻末 「日本語文→英文」一覧 p.95 ～

■ テーマ毎 英文冒頭パターン一覧

パート	テーマ	英文冒頭パターン	
1	1 「自分の状態」について伝える	①	I am / I'm not
		②	I + 動詞 / I don't + 動詞
	2 「自分の性格、…」を伝える	②	I + 動詞 / I don't + 動詞
	3 「自分がやったこと」を伝える	③	I + 動詞(過去) / I didn't + 動詞
	4 「自分の意思、要望」を伝える	④	I'll + 動詞 / I won't + 動詞
		⑤	I'd like / I wouldn't like
	5 「他者の状態」について伝える	⑥	主語 is / 主語 isn't
		⑦	主語 + 動詞 / 主語 doesn't + 動詞
2	6 「他者の性格、…」を伝える	⑦	主語 + 動詞 / 主語 doesn't + 動詞
	7 「他者がやったこと」を伝える	⑧	主語 + 動詞(過去) / 主語 didn't + 動詞
	8 「相手の状態」について尋ねる	⑨	Are you
		⑩	Do you + 動詞
	9 「相手の性格、…」を尋ねる	⑩	Do you + 動詞
	10 「相手のやったこと」を尋ねる	⑪	Did you + 動詞
	11 「相手の意思、要望」を尋ねる	⑫	Can you + 動詞
		⑬	Would you like
	12 「他者の状態」について尋ねる	⑭	Is + 主語
		⑮	Does + 主語 + 動詞
	13 「他者の性格、…」を尋ねる	⑮	Does + 主語 + 動詞
	14 「他者がやったこと」を尋ねる	⑯	Did + 主語 + 動詞
	15 「他者に関する予測」を尋ねる	⑰	Will + 主語 + 動詞
	16 「～することができますか？」	⑱	Can I + 動詞
	17 「～すべきですか？」	⑲	Should I + 動詞
3	18 「相手に動作を」促す	⑳	動詞 / Don't + 動詞

パート 1 「伝える」

事実や状態、行為や出来事を伝達・報告する、特徴などについて、聞き手に対して説明する、さらには要望や見解を表明したり、申し出たりする、…。これらを含め、相手（聞き手）に対してなにかを「伝える」。

このパートを通じ、7 個のテーマ、英文冒頭パターン①～⑧の暗記をして頂きます。

■ 編成について

聞き手に対してなにかを「伝える」という状況として、「自分のことについて伝える（主語は一人称になります）」、「他者のことについて伝える（主語は三人称になります）」、2 つの「ユニット」を編成しています。

各ユニットは、それぞれより細かな「テーマ」に分かれており、原則的に「テーマ」毎に英文冒頭パターンの暗記をして頂くかたちになります。

■ 英文について

> 「肯定文」、「否定文」のみ

「伝える」という発信に集中している本パートにて履修する英文冒頭パターンは、「肯定文」と「否定文」のみなり、「疑問文」は含まれておりません。

> 「主語」の人称について

履修する英文の主語は、編成上 '一人称' もしくは '三人称' のみとなります。'二人称' = 'you' が主語になる英文は出てきません。

つまり本パートで履修して頂くのは、「肯定文・否定文の英文冒頭パターン」のみ、うち主語が一人称になるものが 5 種類(①～⑤)、三人称になるものが 3 種類(⑥～⑧)ということになります。

ユニット 1 「自分のこと」について伝える

自分自身のことについて、相手(聞き手)に伝える。

主語は、すべて一人称 ‘I’ となります。

以下、発信するテーマで分けたうえで、**主語が一人称となる「肯定文・否定文」**の英文冒頭パターン①～⑤を習得して頂きます。

テーマ 1 「自分の状態」について伝える

テーマ 2 「自分の性格、タイプ、・・・」について伝える

テーマ 3 「自分がやったこと」について伝える

テーマ 4 「自分の意思、要望」を伝える

テーマ 1. 「自分の状態」について伝える

自分が「どういう状態であるのか」、「どこにいるのか」、「なにをしているのか」・・・という現在の「状態」を事実として描写し、聞き手に対して伝達、報告する(*本テーマは、「現在」時制のみになります)。

このような内容は、その表現する「状態」に応じて、1) 「be 動詞」、2) 「一般動詞」いずれかを使用することになります。以下、それぞれ別々に履修して頂きます。

* 「be 動詞」、「一般動詞」については、それぞれ次ページ以降にて解説してあります。

1) 「自分の状態」を be 動詞で伝える

> 日本語例文①

	日本語例文①	備考(設定状況、考え方等)
1	気分が悪いんですよ。	
2	それほど忙しくないですよ。	
3	まだお腹すいてますわ。	食事中。
4	とても快適ですよ。	居心地や座り心地などを問われて。
5	日本からきてるんですよ。	
6	興味あります。	
7	元気ですよ。	体調・調子を聞かれて。
8	いま何もしてないですよ。	
9	すごく心配なんです。	
10	おなか一杯ですわ。	食事の場で。
11	困ってるんです。	
12	いまホテルの部屋からなんですよ。	電話。「いまホテルの部屋にいる」
13	結構です(大丈夫です)。	なにかを勧められて、断る。

14	ちょっと疲れてるんですよ。	
15	準備できていないです。	
16	それ、まだ食べてるんですけど・・	ウェイターさんに対して。
17	探しているものがあるんですけど。	お店で。店員さんに。
18	ある人を待っているんです。	駅前で。何気ない会話。
19	それについて聞いているのではないです。	質問がうまく伝わらない状況。

このような日本語は、以下英文冒頭パターン①で始まる英文で表現されます。

> 英文冒頭パターン①

	英文の冒頭	
	1 語目	2 語目
肯定文	I'm	--
否定文	I'm	not

> 「I'm」は、「I am」の短縮表記。

> not は「否定」を表す語句。以後も「否定文」の英文冒頭パターンには必ず含まれる言葉。

■ be 動詞 'am'

ここで履修するパターンに含まれる I'm = I am の 'am' は、「**be 動詞**」に分類されます。

「be 動詞」とは、主語が「なんであるか」、「どうであるか」といった叙述をするための機能を持ち、もともとのかたち(原形)が 'be'、主語の人称や時制によって、am, is, are, was, were と変化します。

今回の 'am' は be 動詞が変化したものであり、主語が単数の一人称 = 'I' の場合に、「現在の状態」を表現する際に使用されます。

- * 主語が複数の場合に必要な be 動詞は 'are' になります。
- * いわゆる普通の動詞(例えば come, go, have, know ……)は、be 動詞と区別して「**一般動詞**」と呼ばれます。単に「動詞」という場合には、原則的に「一般動詞」のことを指します。

なお、「なんであるか」、「どうであるか」の具体的な内容を表す語句(名詞、形容詞、～ing、前置詞句等)は、英文冒頭パターンのうしろに置かれます。

■ be 動詞が表現するニュアンス

主語の人称や時制に関わらず、共通してご注意頂きたいポイントになります。

be 動詞を使って表現することのできる範囲とは、「日本語例文」にてご確認頂けます通り、「～である」、「～(という状態)である」のみならず、「～(場所)にいる」、「～(動作を)している*」、「～の最中である」等も含まれます。

「状態(の叙述)」という言葉の表す範囲の幅広さ、つまり be 動詞で表現できる範囲の幅広さをご認識ください。

* 特に「～(動作を)している」(4「日本語例文」No.16～19)については、動作を「している状態にある」ととらえるため、この英文冒頭パターン①で表現されます。なお、英文冒頭パターンの後は、当該動作の語尾に 'ing' をつけた語句をおきます(いわゆる「現在進行形」)。

◆ 暗記練習①

「日本語例文①」→「英文冒頭パターン①」の暗記

> 英文(全文)は、p.96 を参照。

巻末 「日本語→英文」 一覧

以降、教材で使用しました各「日本語例」に対する「英文(全文)」を記載した組み合わせ一覧になります。

* 各英文の「英文冒頭パターン」部分を太字にしてあります。

■ パート1「伝える」 ユニット1「自分のことについて伝える」

	日本語例文①	英文冒頭パターン①の英文
1	気分が悪いんですよ。	I'm sick.
2	それほど忙しくないですよ。	I'm not so busy.
3	まだお腹すいてますわ。	I'm still hungry.
4	とても快適ですよ。	I'm very happy.
5	日本からきてるんですよ。	I'm from Japan.
6	興味あります。	I'm interested in it.
7	元気ですよ。	I'm good.
8	いま何もしてないですよ。	I'm not doing anything now.
9	すごく心配なんです。	I'm very worried.
10	おなか一杯ですわ。	I'm full.
11	困ってるんです。	I'm in trouble.
12	いまホテルの部屋からなんですよ。	I'm in a room at a hotel now.
13	結構です(大丈夫です)。	I'm fine.
14	ちょっと疲れてるんですよ。	I'm a bit tired.
15	準備できていないです。	I'm not ready.
16	それ、まだ食べてるんですけど・・	I'm still eating that.
17	探しているものがあるんですけど。	I'm looking for something.
18	ある人を待っているんです。	I'm waiting for someone.
19	それについて聞いているのではないです。	I'm not asking about that.

	日本語例文②	英文冒頭パターン②の英文
1	今日 2,000 円しかありません・・	I have only 2,000 yen today.
2	わたし、よく分かっていないです。	I don't understand you well.
3	予約してありますけど。	I have a reservation.
4	これ、あんまり好きじゃないんですよ。	I don't like that so much.
5	電話番号忘れちゃってますわ・・・	I forget the number.